



## フェデレーション

---

- [ドメイン間フェデレーション \(1 ページ\)](#)
- [ドメイン内フェデレーション \(2 ページ\)](#)

### ドメイン間フェデレーション

ドメイン間フェデレーションでは、エンタープライズドメイン内の Cisco Jabber ユーザは、他のドメイン内のユーザと可用性を共有し、それらのユーザにインスタントメッセージを送信できます。

- Cisco Jabber ユーザは他のドメインの連絡先を手動で入力する必要があります。
- Cisco Jabber がサポートしているフェデレーション先は次のとおりです。
  - Microsoft Office Communications Server
  - Microsoft Lync[MicrosoftLync]
  - IBM Sametime
  - Google Talk などの XMPP 標準ベースの環境



---

(注) Expressway for Mobile and Remote Access は、XMPP ドメイン間フェデレーション自体を有効にするものではありません。Expressway for Mobile and Remote Access 経由で接続された Cisco Jabber クライアントでは、Cisco Unified Communications Manager IM and Presence で有効になっている XMPP ドメイン間フェデレーションを使用できます。

---

- AOL Instant Messenger

Cisco Unified Communications Manager IM and Presence Service で、Cisco Jabber に対してドメイン間フェデレーションを設定します。詳細については、該当するサーバのドキュメントを参照してください。

## ドメイン内フェデレーション

ドメイン内フェデレーションでは、同じドメイン内のユーザは可用性を共有し、Cisco Unified Communications Manager IM and Presence Service と Microsoft Office Communications Server、Microsoft Live Communications Server、または他のプレゼンスサーバとの間でインスタントメッセージを送信できます。

ドメイン内フェデレーションを使用すると、ユーザを別のプレゼンスサーバから Cisco Unified Communications Manager IM and Presence Service に移行できます。そのために、プレゼンスサーバ上で Cisco Jabber 用のドメイン内フェデレーションを設定します。詳細については、次の各項を参照してください。

- Cisco Unified Communications Manager IM and Presence Service : 『*Partitioned Intradomain Federation for IM and Presence Service on Cisco Unified Communications Manager*』

## 翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。